



ドライバーのみなさん！ 8月は運転に十分ご注意ください

昨年、十和田警察署管内で発生した人身事故は398件、物損事故は1,645件となっています。

冬季間を除く平成22年4月から11月までの推移をグラフにすると（右記グラフ参照）8月の人身事故は41件、物損事故は145件とともに前月に比べ、高くなっています。

これからレジャーシーズンを迎え、出かける機会が増えます。気温が高くなると、運転手の注意が散漫になり交通事故が起きやすくなりますので、十分ご注意ください。また、同乗者も運転手に注意を呼び掛け、みんなで交通事故を防ぎましょう。

青森県暴力団排除条例7月1日から施行！

問十和田警察署 ☎ 3195

- 暴力団を利用する目的や暴力団の活動を支援する目的で、金品などを供与することを禁止します。
- 暴力団事務所に使用されることを知りながら、不動産譲渡などをすることを禁止します。
- 学校、保育所、図書館、博物館などの周囲200m以内の区域に暴力団事務所を開設および運営することを禁止します。



十和田産品販売戦略室

問十和田産品販売戦略室 ☎ 56743



平成23年度十和田市食産業元気創出支援事業に取り組みかたを募集します（第2次募集）

市では、農林水産業および関連産業の活性化を図るため、商品開発やマーケティングに取り組みかたに対し補助金を交付します。

対象となる取り組み 地元産の農産物を活用した付加価値

の高い加工商品の開発や販売促進に関する取り組みなど

対象者 市内に住所を有する個人および法人、任意団体

補助率など 2分の1以内（上限100万円）

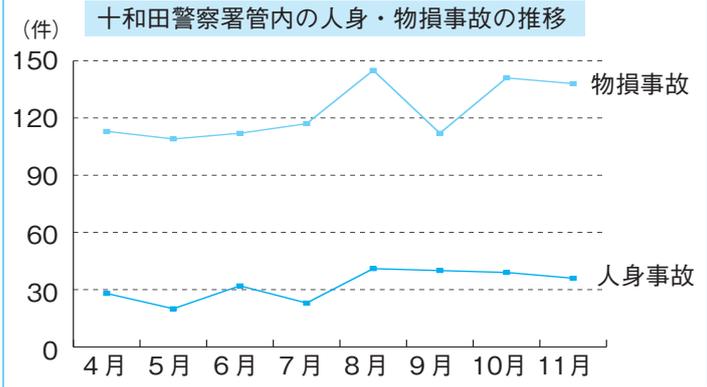
申込期限 8月26日（金）

※詳細は、市ホームページに掲載している公募要領をご覧ください。

※広報とわだ5月号で募集した事業と同じですが、今回は商品開発・マーケティング支援のみの募集となります。

新たな商品開発などに使用する米粉を提供しています

米粉のサンプル提供について、引き続きご利用するかたを募集しています。詳しくは、広報とわだ6月号をご参照ください。



チェックポイント

- ▶人身事故の発生場所は、交差点と交差点付近を合わせると約54%を占めています。特に交差点で注意が必要です。
- ▶物損事故は、車と車による衝突事故が最も多く、出会い頭による衝突が43%、次に追突が37%となっています。

十和田産品 わたしが作ってます

日本の食を支える生産者を紹介します。

なかの ゆういちろう

中野 雄一郎 さん

洞内で農業を営む。米、大豆、長芋、ソラ豆などを生産。大学卒業後Uターンし、農業に従事。趣味はビリヤード。



▶▶農業をはじめたきっかけは？

きっかけは、大学のときに実家から送ってもらった長芋をバイト先に持っていったらとても喜ばれて、おいしいと思ってもらえるっていいなと思ったから。最初は本気で農業をやり始めたわけじゃなく、とりあえずやってみて合わないと思ったら就職しようかなぐらいの感じでした。

▶▶これからご自分や十和田の農業をどうしていきたいと思いませんか？

食べるものを作っているの、やはり安心安全でおいしいものを育てたいですね。食べる人が、「安いから」だけではなく、「おいしいから」といって選んでくれるような野菜に育つように工夫していきたいです。無肥料無農薬で、どこまでできるのか試してみたり。

首都圏などでは、農業の魅力に注目が集まっているようですが、こちらではあまり感じない。後継者も少ないので、もっと後継者が増えるように、楽しくて、やりがいのある仕事だってことを知ってもらえるようにPRしていきたいと思っています。自営業だから時間も少しは自由がきくし、自分の頑張り次第で結果を出せるし、おいしいものをその場で食べられるし（笑）。